

にじいろはーと

特定非営利活動法人 おいた子ども支援ネット ニュースレター

第2号

発行日
2015年7月
発行元
NPO 法人
おいた子ども支援ネット
事務局

にじいろ ネットワーク

大分県福祉保健部監査指導室長
(前大分県中央児童相談所長)

荒木 啓 司 様

「子どもシェルター・自立援助ホーム みらい」開所、誠におめでとうございます。



この子どもシェルター、今まさに全国各地で、弁護士さんたちを中心とする有志の方々のご努力により次々と開設されてきています。

そして、この大分県でもついに開所の時を迎えることができました。ここまでご尽力をいただいた関係者の皆様に対して、心からお礼とお祝いを申し上げたいと思います。

この「子どもシェルター・自立援助ホームみらい」は、我々、児童相談所関係者にとっても待ちに待った施設のひとつであります。

中学を卒業しても、就職もできず、進学もままならない子どもたち。

児童養護施設から高校に進学しても、うまくいかず、中途リタイアしてしまう子どもたち。

彼らは、児童養護施設にもおられず、でも帰る家もない子どもたちでした。

こういう子どもたちは、本人たちが望むと望まないに関わらず、自ずと非行等、困難を抱えざるを得なかったわけでありませう。

児童相談所に来られても、一時保護はできたとしても、その後自立に向けてつなぐことのできる有効な社会資源がなかったわけでありませう。

そういう、いわゆる「行き場のない子どもたち」「居場所のない子どもたち」に光を当て、社会的に自立させていこうとするこの「子どもシェルター・自立援助ホームみらい」。

ただ、保護するだけでなく、社会的に自立できる道筋が整うまで、支援していこうとするこの施設。

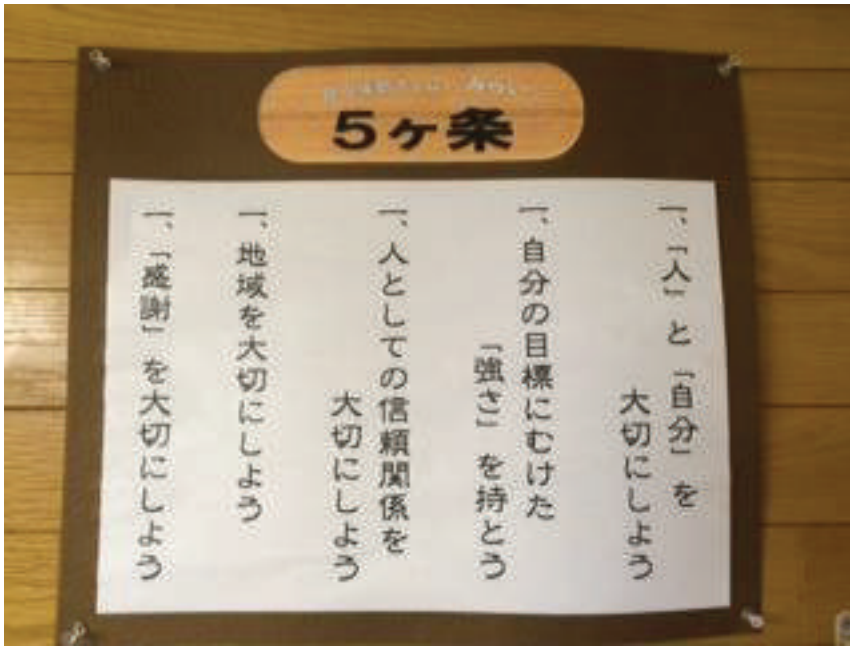
子どもたちが自信を取り戻し、やがて笑顔で社会に巣立っていく可能性を秘めたこの施設。

大いに期待し、応援したいと思います。

子どもたちが倅せになるための選択肢がまたひとつ増えたことを喜び、この「みらい」が大いにその機能を発揮され、それこそ子どもたちに輝かしい「みらい」が訪れますことをご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



「みらい」始動！ ～子どもシェルター・自立援助ホーム「みらい」での生活が始まりました～



4月1日。3名の男子児童が入居し、自立援助ホーム「みらい」が始動しました。高校に通学する16歳がふたりと仕事を始める18歳がひとり。

まずは、お部屋の大掃除から。生活物品を部屋に入れて、みんなでホームづくりをすることからのスタートでした。それぞれが、自分の「空間」を大切につくり、みんなの空間をみんなでつくり…。

職員も子どもたちもこれから始まる生活への「ワクワク・ドキドキ感」と「ハラハラ感」が混じった—なんとも言えない雰囲気の中、「はじまり」を迎えることができました。

ホーム生活の「はじまり」はバタバタ！！。見習い期間が早速始まったD君。朝早くから出勤です。お弁当作りは、ほぼ「ど素人」の男性職員。朝も早くから～。世のお母様方の偉大さを痛感！。高校生は入学式。ご家族といっしょに入学式参加。あきらかに浮いてるみらいの職員…。なぜか子どもと一緒に緊張…。

職員：お弁当づくり⇒学校・職場の対応⇒買い物⇒夕飯づくり⇒子どもたちとのふれあい⇒記録

高校生：「えー。下宿してます」「みらいに住んでます」などと微妙な言い方しながらの高校生活。

部活動にも入部し、たくさんの壁にぶつかりながらも、全力前進中！

就労生：毎日の現場仕事に、土まみれ、ほこりまみれ…。でも初めてのお給料をいただき、達成感！

職員も子どもたちも、とにかくあわただしいスタートでした。でも、少しずついい毎日が増えています。

そんな中、みんなのホームをみんなで大切にしよう！というテーマで、主任指導員のもと、「みらい5か条」なるものが策定(?)されました。おっきなテーマは「自分らしく少しずつ大人になっていこう」です。ホームを利用するみんながそれを達成できるように…。

—みらい5か条—

- 「人」と「自分」を大切にしよう！
- 自分の目標に向けた「強さ」をもとう！
- 人としての「信頼関係」を大切にしよう！
- 「地域」を大切にしよう！
- 「感謝」を大切にしよう！

が決まりました。

—2ヶ月が過ぎました…。いろいろありました。いろいろ。いいことも。心配されたことも。でもそのすべてが子どもたちにとって「自立していくために必要なこと」です。お米、食料品、衣服、本等々、たくさんの方からいただける「善意」。心より感謝申し上げます。「俺たちはみらい1期生」と勝手にいろいろ言いながら、子どもたちも頑張っています。またご報告させていただきます。今後ともよろしく願いいたします。



<なないろホールの様子>

放課後等デイサービス

「なないろ」



—2ヶ月が経過しました—



小学生対象の放課後通所支援サービス「なないろ」も4月中旬よりスタート。周辺の小学校を中心に、数名の子どもたちが利用しています。学校終了後、宿題を抱えてなないろへ。平日は学習支援中心に。でも、送迎車に乗るときの挨拶、なないろに入る時の「お願いします」、「さようなら」のあいさつなど、生活の中で必要とされるいろいろなことを学んでいます。大分大学の学生ボランティアのみなさんの力を借りながら、毎日「ワイワイ」「ガヤガヤ」。土曜日は「学ボラ企画」（学生ボランティアさんの企画する活動）や「なないろタイム」（自分で遊びを決めて楽しく活動！）などで、さらに「ガヤガヤ！！」。安心できる子どもたちの居場所、療育を必要とする子どもたちの支援にこれからもスタッフ一同、がんばってまいります。



ちよつとずつ
お勉強が楽しく
なってきたあー

<個別学習の時間>



<学ボラ企画—スライムづくり— 楽しい活動になりました>

開所式が行われました！



去る4月28日、おおいた子ども支援ネットセンターハウスの開所式が行われました。県関係者の方々、県内の児童養護施設協議会の皆様、子どもの福祉にご尽力されているの方々等をお迎えしささやかながら、手作り感満載のあたたかい式典になりました。放課後デイサービスを利用する小学生が作った生け花がお客様をお出迎え。たくさんの方から励ましのお言葉をいただき、法人一同、課せられた責任とこれからの取り組みに身の引き締まる思いでした。紙面を借りて御礼を申し上げます。「ありがとうございました」。

～お知らせ・雑記～



おおいた子ども支援ネット HP（ホームページ）が完成しました。法人運営員のK 弁護士さん。その手腕を発揮してくださいました。さすが！。Yahoo!やGoogleなどの検索エンジンで「おおいた子ども支援ネット」と入力し、検索してください。諸々の情報が入っています。よろしく申し上げます。



ご支援のお願い ～子どもたちの生活や活動を支えてください～

4月に事業を開始後も、たくさんの方々からご支援をいただいております。「新聞報道等を見ました。ご寄附したいのですが…」など県外からも善意が届けられました。また、お米や食料品、日用品、ベッド、衣服、本などを持参してくださる方々も。法人一同あらためて深謝し、今後とも子どもたちのための「支援の輪」を広げていきたいと思っております。支援の方法等はホームページ「ご支援のお願い」のコーナーに記載しています。皆様方のご協力・ご支援のほど何卒お願い申し上げます。



～編集後記～

おおいた子ども支援ネットセンターハウスが創業しました。自立援助ホーム「みらい」放課後等デイサービス「なないろ」がはじまりを迎え、敷地内のあちこちから、子どもたちの声が響いています。

また、本事業の開始または運営にあたっては、数えきれない多くの方々の善意に支えられていることを痛感しています。「ちょっと本があるからもっていくわー」「お米いただいたので食べてください」「子ども支援ネットの事を仲間に話していいですか～」などの声。関係の事業所や銀行の方や、子どもの通学する高校の先生などからも「がんばってください！」と激励をいただき。そして何よりも、利用する子どもたちの笑顔と、こどもたちのがんばり。いまさらながらですが「人のつながり」の大切さやありがたさを感じる毎日です。

法人職員一同、「すべての子どもたちに明るい未来を！」という初心を忘れず、前進していきます。

今後とも皆様方のご理解、ご協力、ご支援のほどよろしく願いいたします。

特定非営利活動法人おおいた子ども支援ネット 事務局

* ご質問・ご意見等あれば電話もしくはメールにてお尋ねください。

おおいた子ども支援ネット事務局 TEL : (097) 507-5417 mail : oita-kodomasien777@oct-net.ne.jp